

## 第2回公開授業研究会（プレ発表会②）事後検討会事項書（暫定版）

自ら学び続け、つながり合う生徒の育成  
～「教師と生徒による見通しの共有」と「探究のプロセスに沿った複線型授業」を通して～

R7年9月19日（金）14:50～16:30

数学 2-1 教室（事後検 2-2 教室）

体育 体育館（事後検 2-3 教室）

### 0 ※授業が始まるまでに選んで枠内に記入（大木中教員は校内研修の Classroom「学びの記録」に入力）

#### 【本研修の目標】

S：教科の見方考え方も踏まえて、複線型授業や主体的な学びについての理解を深める

A：複線型授業や主体的な生徒の学びの視点から、自分の授業に活かせる内容を見つける

B：複線型授業や主体的な生徒の学びの視点から、参観した授業の改善策を出す

自分の目標は  
「  
」

#### 1 学校長より

- ・助言者の紹介（当日の参観者の紹介を含む）

#### 2 事後検討会（100 分）

##### 参観の視点

- ①生徒が自ら学ぶ姿勢はどうであったか

生徒が見通しをもって学習できていたか。またどうすればできるようになるか

- ②教師の授業設計や支援はどうであったか

生徒が自ら学べるような工夫（見通しの共有など）や支援がされていたか。

#### ○ 数学（清水大輔 2年1組） 「 一次関数 」

〈 助言者：鈴鹿市教育委員会 教育指導課 指導主事 平野生雄 〉 司会：種瀬

A：米川・中山・田中・大辻・後藤

B：神谷・上田・羽山・樋田・杉山

C：種瀬・伊藤・中村・松村・渡邊

D：柿木・宮崎・小杉・佐藤・生川

E：福村・永井・中川・松岡・清水

※下線：ファシリテーター

波線：記録 をお願いします

#### ○ 体育（山田啓義 2年3組） 「 バレーボール 」

〈 助言者：鈴鹿市教育委員会 教育指導課 指導主事 落合一臣 〉 司会：粉川

A：前川・水野・樋口・東・上村

B：秋山・富井・粉川・山下・青木

〈敬称略〉

〈 事後検討すすめ方 〉

① 上記「参観の視点」に基づいてフセンに良い点（赤）と改善点・疑問点（青）を書く。

① 授業者より一言（5分）

② A3用紙（参観授業用）にフセンをはりながら授業について意見交流を行う。授業者は出された疑問に答えたり、適宜話し合いに参加したりする（30分）  
記録者は、出てきた意見をキーワードや視点ごとに整理しまとめていく

③ 助言者より（15分）※各教室で行う

数学：平野生雄 先生

体育：落合一臣 先生

④ ②③で出てきた意見や課題を概念化（自分の授業にも応用できる表現に言い換える）する（15分）  
（大木中の先生は、「学びの記録」（スプレッドシート）に打ち出してください）

⑤ ④に関して、班内で意見の交流をする（25分）

3 助言者への質疑応答（5分）

4 ふりかえり（5分）

- ・外部参観者→研修用 HP にある Google Form からお願いします。QRコードを読み取っても回答できます。
- ・大木中教員→大木中の先生方は Classroom の「学びの記録」に入力してください



5 その他

- ・分科会ごとに流れ解散です

## 授業の参観について

○授業はなるべく生徒の活動が見える位置から参観してください。

○参観する位置は、授業のシーンに合わせて適宜移動していただいて構いませんが、生徒の話し合いの輪に入ったり、話しかけたりすることはお控えください。

### 【参観の視点】

①生徒が自ら学ぶ姿勢はどうであったか

生徒が見通しをもって学習できていたか。またどうすればできるようになるか

②教師の授業設計や支援はどうであったか。

生徒が自ら学べるような工夫（見通しの共有など）や支援がされていたか。

※ICTの活用方法や授業者の声掛け等に関しても、ご自分の視点（自分ならこうする！こうした方が効果的なのでは？等）をもってご参観いただき、事後検討会でご意見いただけると幸いです。

○上記について、授業を参観しながらメモをお願いします。

メモにどうぞ↓

良い点・真似したい点

改善点・疑問点

月 日 曜日 限目 年 組 教科 ( )

時間	メモ
5 分	
10 分	
15 分	
20 分	
25 分	
30 分	
35 分	
40 分	
45 分	
50 分	